

阿蘇バイエリア活性化マスタープラン

概要版

平成 28 年 3 月 12 日

阿蘇ベイエリア活性化マスタープランの背景と目的

阿蘇ベイエリア活性化マスタープランは、与謝野町の平成 27 年度主要政策のひとつである、『与謝野ブランド戦略事業』（産業振興をまちづくりの中核に据えた地域ブランド戦略）の三本柱＝「ものづくり産業の強化・エリア構築・プロモーションの強化」のうち、「エリア構築」のためのランドデザイン策定を目的とし、阿蘇ベイエリアが目指すべき将来像を計画するものです。

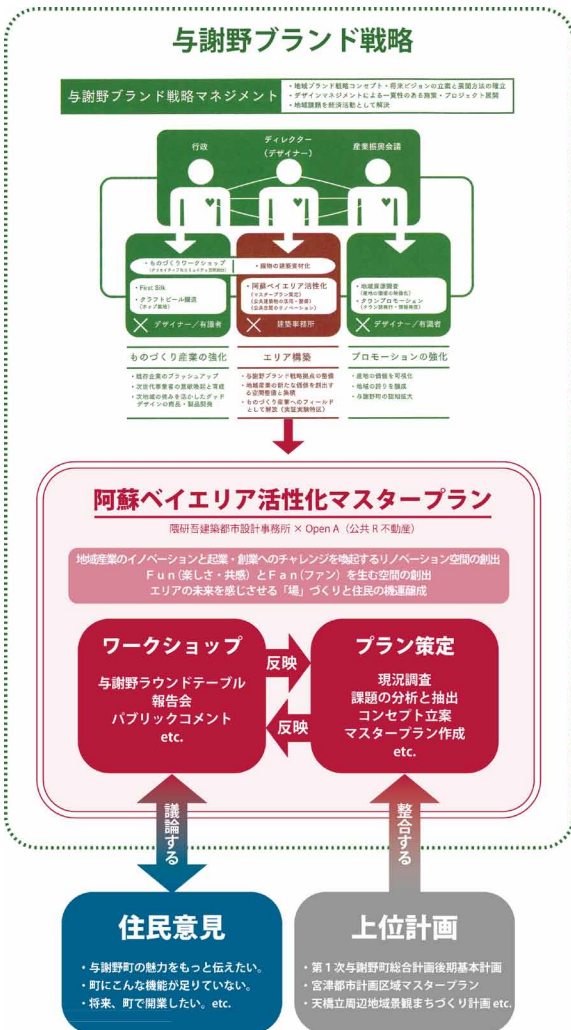
与謝野町は、平成 27 年 12 月 5 日の与謝野ブランド戦略シンポジウムにおいて、与謝野ブランド戦略のコンセプトとして、『みえるまち』を発表しました。これに従って、阿蘇ベイエリアは『みえるまち』の拠点として、産業のイノベーション^{*1}と住民のチャレンジを支え、世界に向けて町の魅力を発信する場、賑わいに満ちた豊かな生活をおくる舞台となることを目指します。



阿蘇ベイエリア活性化マスタープランの重点ポイント

- ▶ 地域産業のイノベーションと起業・創業へのチャレンジを喚起するリノベーション^{*2}空間の創出。
- ▶ Fun（楽しさ・共感）と Fan（ファン）を生む空間の創出。
- ▶ エリアの未来を感じさせる「場」づくりと住民の機運醸成。

位置づけと策定プロセス



対象区域と重点エリア



京都府与謝郡与謝野町 字弓木、岩滝、男山地内（阿蘇海含む）を阿蘇ベイエリア活性化マスタープラン対象区域とします。

平成 26 年度統計より
(平成 27 年 3 月 31 日現在)

地域	人口(人)	面積(km ²)
弓木	1,696	13.35
岩滝	2,827	
男山	1,443	
合計	5,966	13.35
与謝野町	23,166	108.38



与謝野ブランド戦略の拠点機能を集約した「重点エリア」を設けます。町内・町外からのアクセスの優位性、中心市街地との近接性、景観の特異性、海・緑地・空き家等の集約性などを評価し、阿蘇海を含む阿蘇シーサイドパーク周辺地域を本計画の重点エリアとします。

住民と一緒に楽しむまちづくり ワークショップ

プラン策定に当たっては、住民意見による町の課題・ポテンシャル^{*3}の抽出、住民自身による具体的プロジェクトの発案を目指し、**ワークショップ^{*4}による策定手法**を採用しました。ワークショップの議論によって得たアイデアや意見をもとにプランの仮説を立て、仮説をもとに再度ワークショップを開催するというサイクルを繰り返すことで、まちづくりに対する住民の機運を醸成するとともに、住民のクリエイティブ（創造的）な意見を反映したプラン策定を目指しました。



クリエイティブ（創造的）な議論の場＝「与謝野ラウンドテーブル」

大きな楕円形のテーブルをみんなで囲み、まちの未来を考える連続ワークショップです。立場、職業、年齢、育ってきた環境の異なる人々が集い、対等に意見を交わすクリエイティブ（創造的）な場であり、与謝野ブランド戦略のコンセプトである「みえるまち」の一環として、**まちづくりの過程そのものを「みえる」化する試み**でもあります。ここで住民が発案したアイデアや再発見した地域の資源を、マスタープランに盛り込みました。

- 2015.9.26 ▶ 第1回「キックオフミーティング」
与謝野町に足りないものは？
- 2015.10.24 ▶ 第2回「プレストミーティング」
与謝野町にどんな魅力があるか？
- 2015.11.21-23 ▶ 第3回「トライアル／3DAYS」
与謝野町にもし〇〇があったら？
- 2016.2.11 ▶ 第4回「事業計画プレゼン」
具体的な事業を考え発表する



▲「キックオフミーティング」の風景



ヨザノキッチン・ランチタイム



鏡のように美しい阿蘇海



阿蘇海シーカヤック・SUP講習会



朝マルシェ



京の豆っこ米



町産ホップ使用ビール



与謝野の織

▲「トライアル／3DAYS」では、「与謝野ラウンドテーブル」で出たアイデアをもとに、阿蘇ベイエリア未来の姿を期間限定で実現しました。

阿蘇ベイエリア活性化マスタープラン 「メインコンセプト」と「10のプロジェクト」

与謝野ブランド戦略の拠点としての阿蘇ベイエリアの役割は、**阿蘇海を主役に据えた新しいストーリーに従って町を再構築し**、与謝野ブランド戦略のコンセプトである「みえるまち」を表現することにあります。そうした港町というあり方を現代に蘇らせ、**人との出会い、素材との出会い、体験との出会いに満ちた、活力あふれるベイエリアとなることを目標とします。**



阿蘇ベイエリア活性化マスタープラン・メインコンセプト

「みえるまち・海の玄関」

新しい人・新しい素材・新しい体験に出会うまち

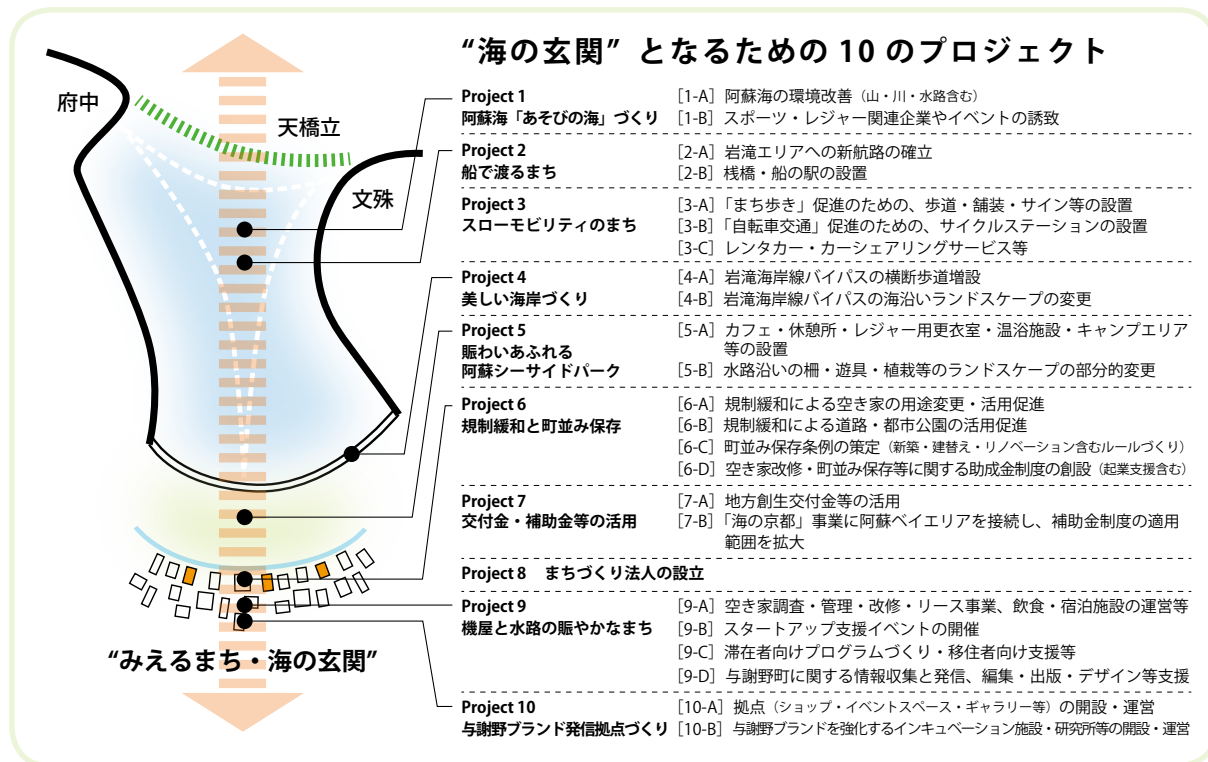


阿蘇海を中心とした、与謝野町の新しいストーリー

天橋立に守られた静かなる海 —— 阿蘇海。

その最奥に位置する“素材づくり”の町 —— 与謝野町。

与謝野町は、丹後ちりめんをはじめとする白生地生産とそれを支える撚糸・製織の技術、日本人の食生活の基本となる米や野菜の生産とそれを支える京の豆つこ肥料づくりなど、加工前の**良質な“素材”の生産に長けた町**です。そこで本計画では、与謝野町を“素材づくり”の町とし、阿蘇海“最奥”という言葉が表す「遠くにある、どこか神秘的で、かつ本質が隠されている場所」のイメージと合わせて捉え直します。



① 阿蘇海「あそびの海」づくり

阿蘇海と周囲の山・川・町を含めた環境を一体的に改善するとともに、新たな水上アクティビティ*5を生み出すことで、誰もが体感したくなる美しく魅力的な阿蘇海をつくります。

② 船で渡るまち

船の航路を失った阿蘇ベイエリアに再び海上交通を取り戻し、船の駅や棧橋を整えることで、海辺の町としての与謝野町の魅力を引き立たせます。

③ スローモビリティのまち

車主体の交通環境から、徒歩・自転車・公共交通利用の人に優しい交通環境へ。「まち歩き」促進のため歩道・舗装・サイン等を計画的に整える他、サイクルステーションや自転車道の活用を図ります。

④ 美しい海岸づくり

阿蘇海沿いのランドスケープ*6を整えることで、バイパスと柵によって遠ざかってしまった町と海との結びつきを取り戻し、住民の憩いの場となる魅力的なウォーターフロント*7空間をつくります。

⑤ 賑わいあふれる阿蘇シーサイドパーク

パーク内に公園や阿蘇海での活動を支える中心施設やキャンプエリア等を整えるとともに、水路・柵・植栽等のランドスケープを部分的に変更し、阿蘇海や市街地と一体感のある公園に進化させます。

⑥ 規制緩和と町並み保存

規制緩和により、空き家や公共空間の民間による積極的な利活用の促進を図ります。また、歴史的・伝統的な木造家屋や機屋を保存し、町並みを守ります。

⑦ 交付金・補助金等の活用

まちづくりの財源として地方創生交付金等を活用する他、「海の京都」事業の適用範囲を阿蘇ベイエリアに拡充します。

⑧ まちづくり法人の設立

空き家の管理・改修・リース事業、カフェ・ホテル等の運営、起業支援、情報発信等を担う、エリア構築の主体となる民間団体の設立を支援します。

⑨ 機屋と水路の賑やかなまち

民間事業スタートアップ支援を通して、遊休不動産（公有・私有）を活用し、与謝野ブランドのブランド力を押し上げる新たなカフェ・レストラン・ショップ・ホテル等を軒軒増やしていきます。

⑩ 与謝野ブランド発信拠点づくり

与謝野町を体感できる「みえるまち」の拠点を、阿蘇ベイエリアに開設します。



みえるまち・海の玄関

新しい人・新しい素材・新しい体験に出会うまち



日の出

籠神社

天橋立

① 阿蘇海「あそびの海」づくり

阿蘇海

② 船で渡るまち

定期船

⑤ 賑わいあふれる阿蘇シーサイドパーク

栈橋

カフェ

④ 美しい海岸づくり

サイクリング

釣り

グランピング

岩滝体育館

空き家活用
ホテル

空き家活用
ギャラリー

空き家活用
ショップ

空き家活用
レストラン

まち歩き

マリンスポーツ

与謝野町役場

町並み保存

みえるまち・海の玄関
 新しい人・新しい素材・新しい体験に出会うまち

【阿蘇ベイエリア活性化マスタープラン・全体イメージ】

実現方策

全員参加型のまちづくり

本マスタープランは、阿蘇ベイエリアの将来像についての基礎となる大きな枠組みとイメージを住民や関係機関の間で共有するために策定したものです。今後、プランの内容を具体的に検討あるいは実現させるに当たっては、関係機関との十分な調整はもちろんのこと、**住民自らが積極的にまちづくりを主導するプレーヤーとなり、自らの生活空間の現状と未来への思いを共有しながら、互いに協力して進めていくことが必要です。**



住民・事業者・行政・外部有識者の協働による全員参加型まちづくり

まちづくりの主役である住民・事業者、行政、外部有識者が、分け隔てなく対等に意見交換できる開かれた議論の場を継続的に設けることで、全員参加型のまちづくりを進めていくとともに、まちづくりのプレーヤーとなる熱意ある人づくりを行います。



関連機関との連携強化

阿蘇ベイエリアの将来像については、阿蘇海を含む広域の環境全体のなかで、府および関係市町等と連携しながら考える必要があります。従って、これら関係機関との連携を強化するとともに、本計画に示す内容について、理解と協力を求めています。



効果的なアクションプランの策定

本計画では阿蘇ベイエリアの将来像を示す上で、各プロジェクトの目標年次を定めていません。これは、現時点での各プロジェクトの実現性ととられることなく、将来像の自由なイメージの共有を優先するために、あえて明記を避けたためです。今後は、各プロジェクトの事業効果、優先度、他事業との整合性等を評価した上で、住民や関係機関との連携のなかで効果的で効率的なアクションプラン^{*8}の策定を行います。

- *1 イノベーション … 革新。方式や制度、組織などの古い枠組みを壊し、新しい発想や革新的な手段・方法により新しい仕組みを創造し、社会に変革を促すこと。
- *2 リノベーション … 既存のシステムの一部を利用したり、それを創造的に破壊することによって新しいシステムを構築すること。建築物の改造を指すことも多い。
- *3 ポテンシャル … 潜在的な力、可能性。
- *4 ワークショップ … 参加者が自ら参加・体験し、何かを学びあったり創り出したりする双方向的な学びと創造の手法で、近年は企業研修や住民参加型まちづくりにおける合意形成の手法として用いられることも多い。
- *5 アクティビティ … 屋外で行う活動の総称。
- *6 ランドスケープ … 景観。特に、人工環境と自然環境の調和を目指して構成された外部空間の総合的な景観。
- *7 ウォーターフロント … 海や河川などの水際の地帯。
- *8 アクションプラン … ある政策や企画を実施するための基本方針。また、行動計画。



阿蘇ベイエリア活性化マスタープラン

発行 与謝野町

〒629-2292

京都府与謝郡与謝野町字岩滝 1798 番地 1

TEL : 0772-43-9000

編集 与謝野町

隈研吾建築都市設計事務所